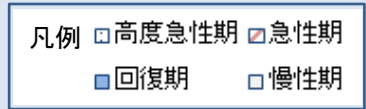


# 平成29年度病床機能報告結果(速報値)

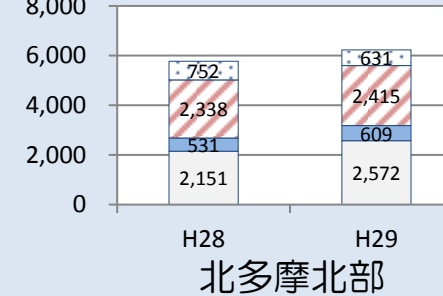
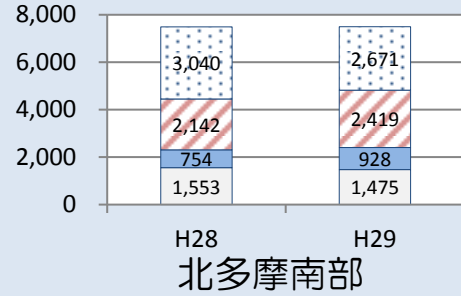
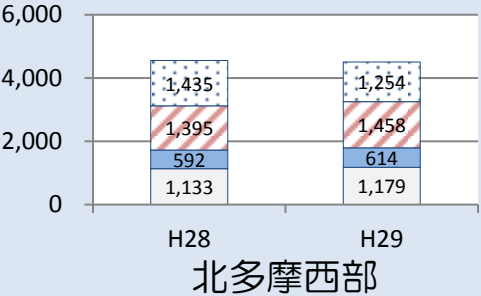
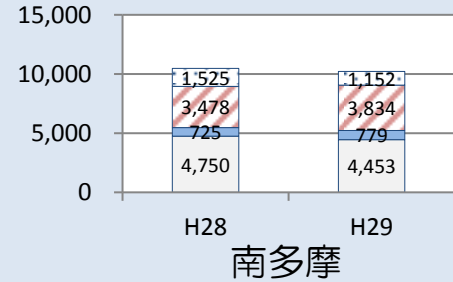
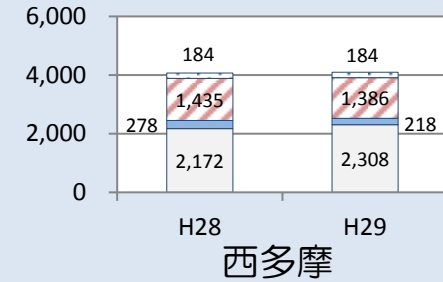
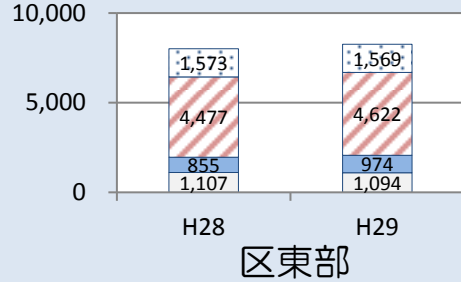
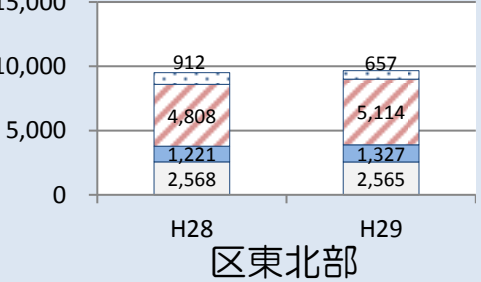
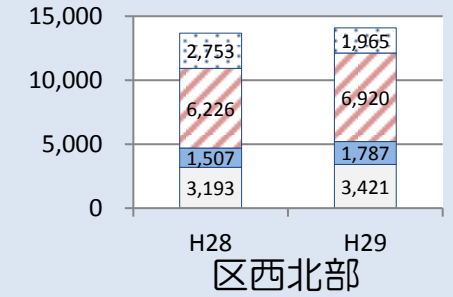
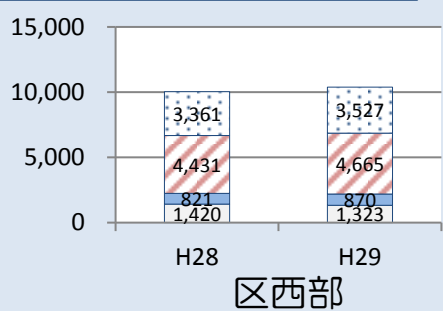
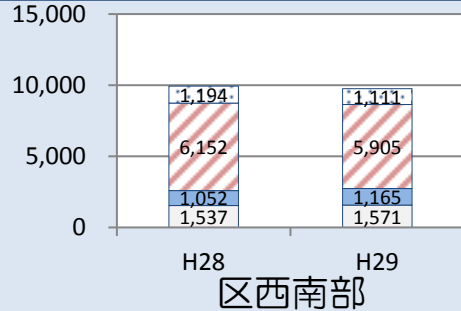
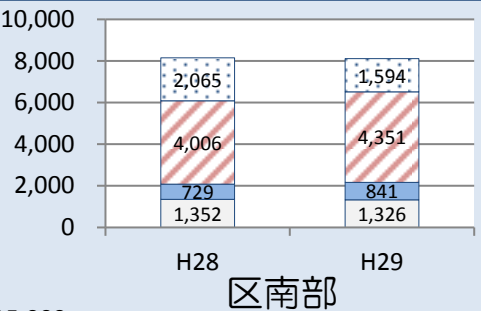
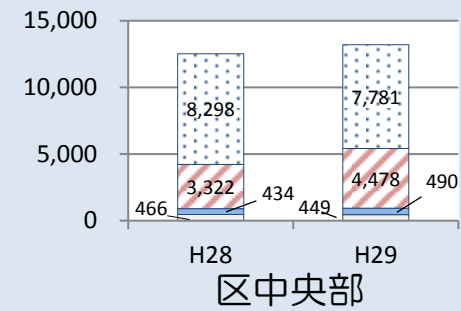
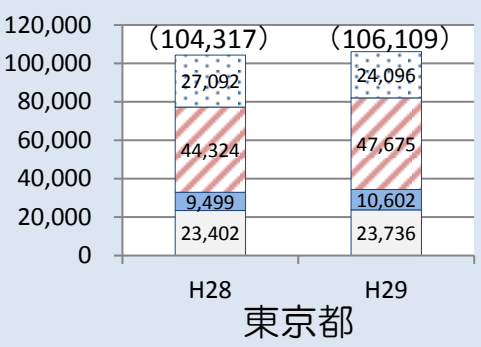
## H28-29比較 <4機能別許可病床数>



**<結果の概要(東京都)>**

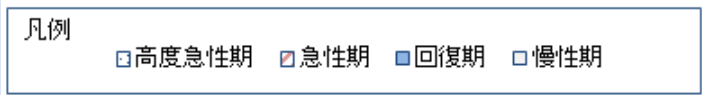
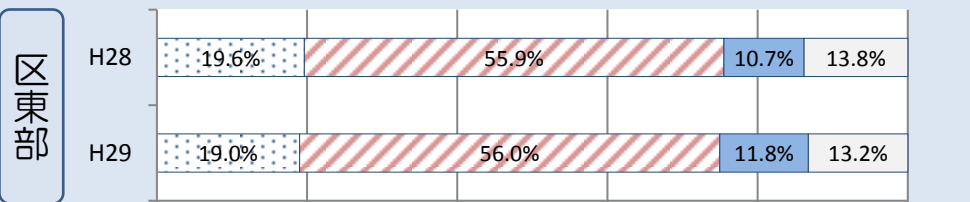
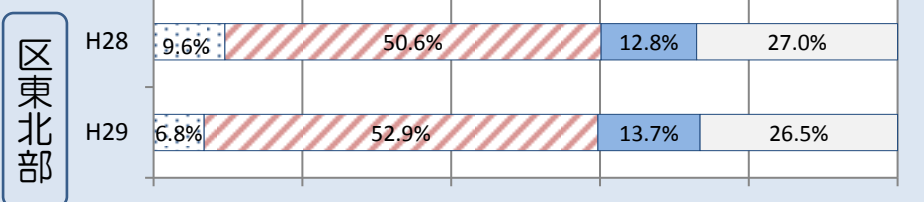
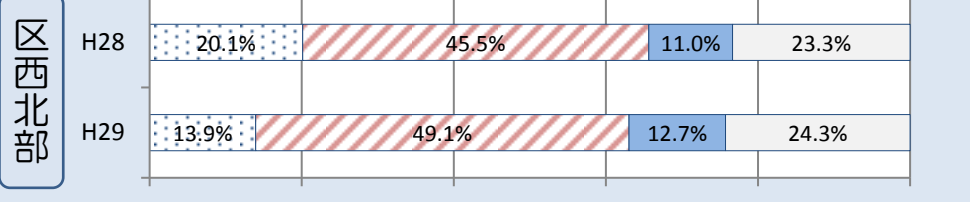
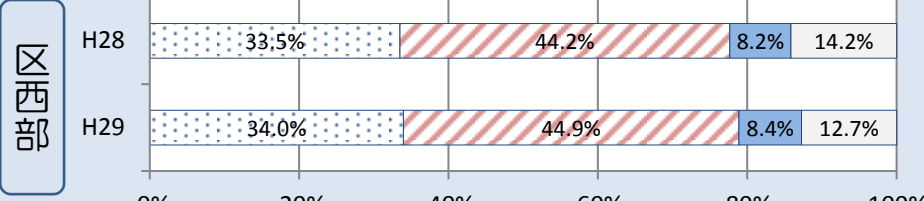
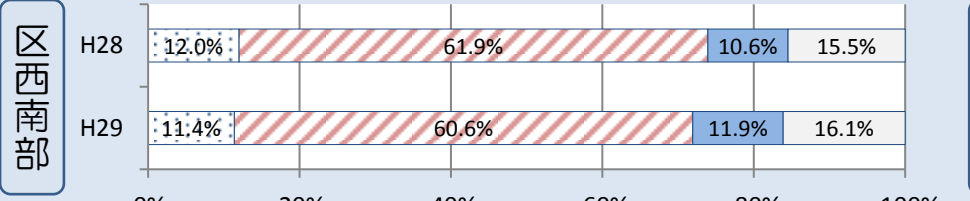
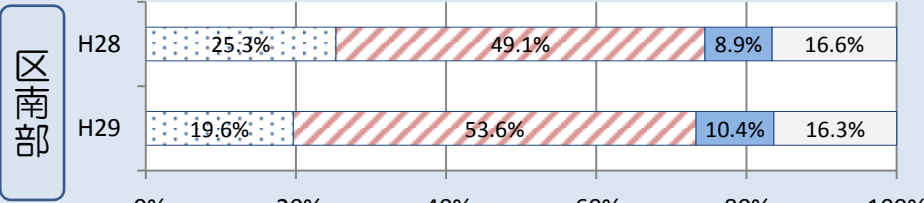
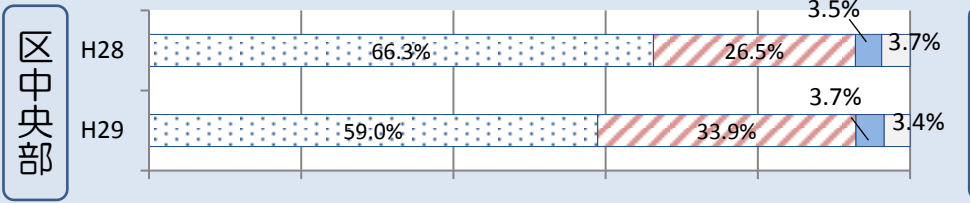
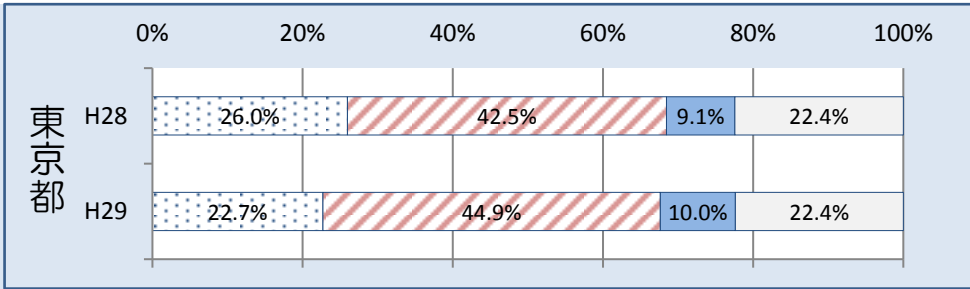
○平成28年度結果に比べ、病床数全体は、1,792床増

(機能別増減) 高度急性期機能 2,996床減  
 急性期機能 3,351床増  
 回復期機能 1,103床増  
 慢性期機能 334床増



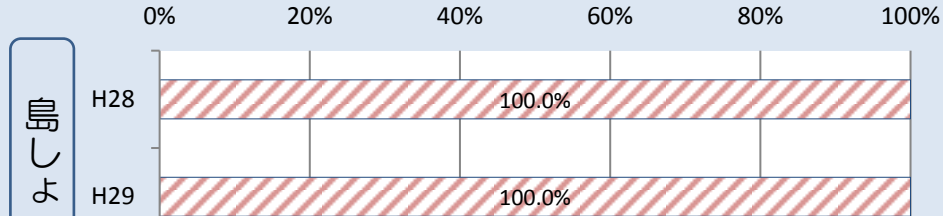
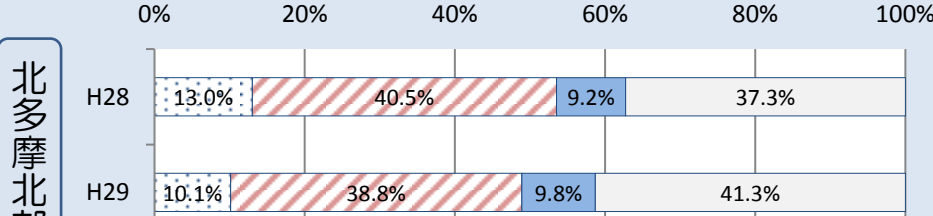
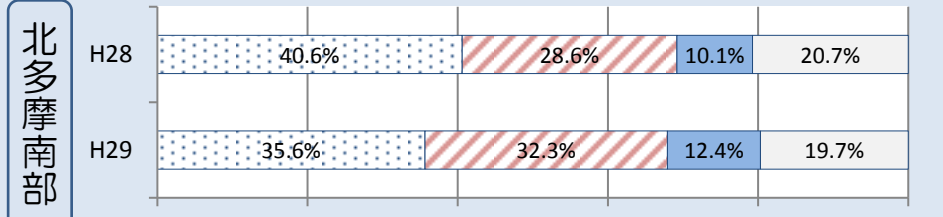
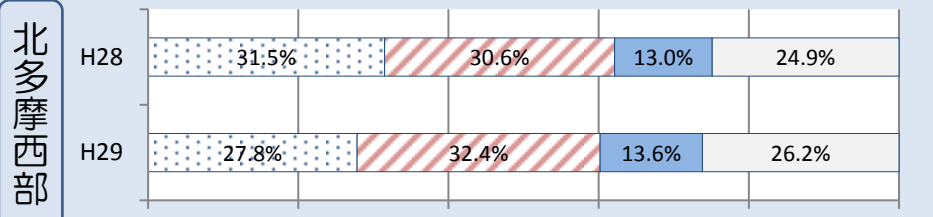
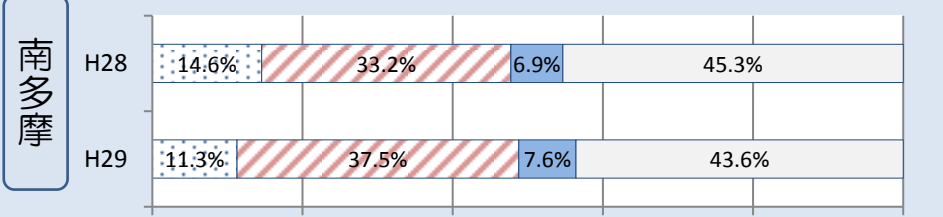
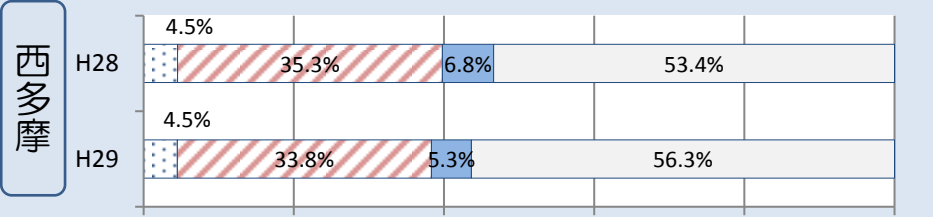
# 平成29年度病床機能報告結果(速報値)

H29-28比較 <4機能別許可病床数の割合/区部>



# 平成29年度病床機能報告結果(速報値)

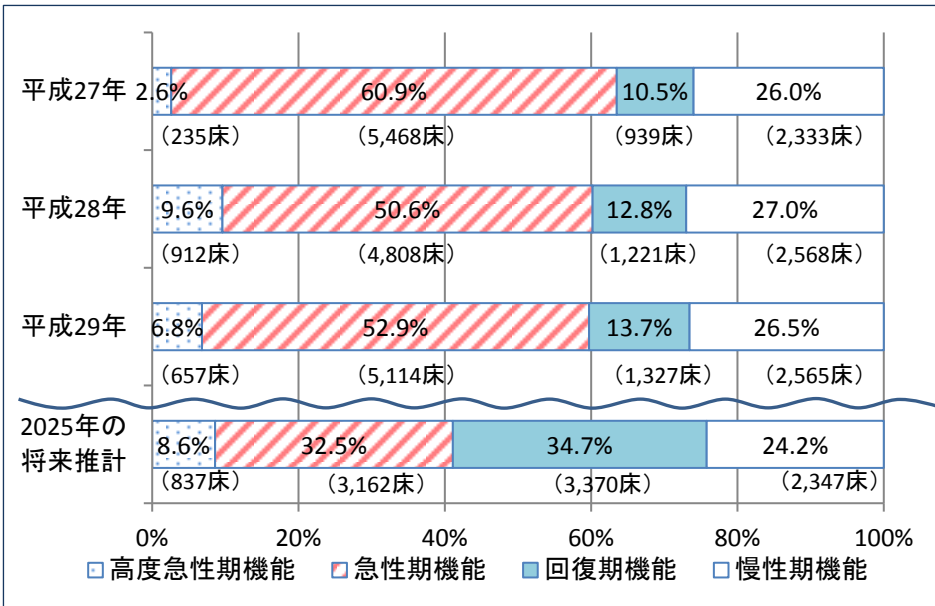
H29-28比較 <4機能別許可病床数の割合／多摩・島しょ>



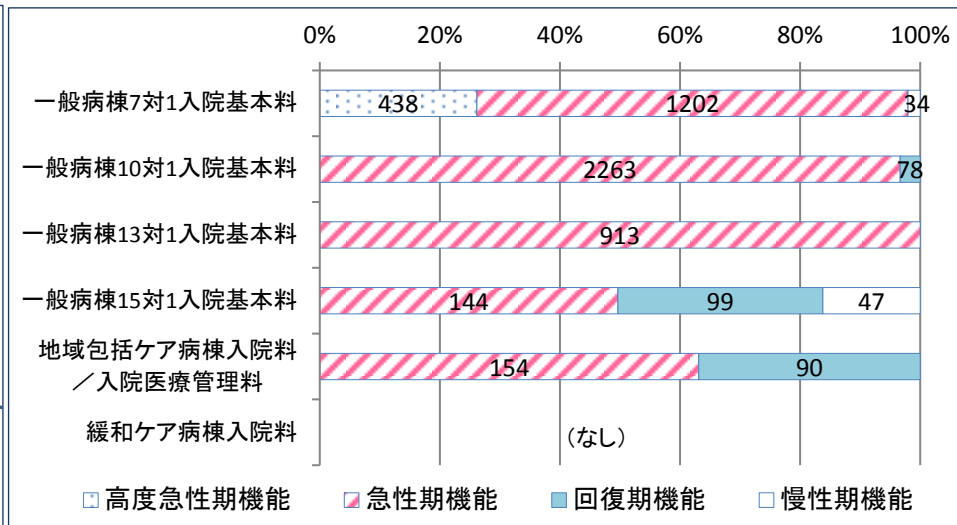
凡例

- 高度急性期
- 急性期
- 回復期
- 慢性期

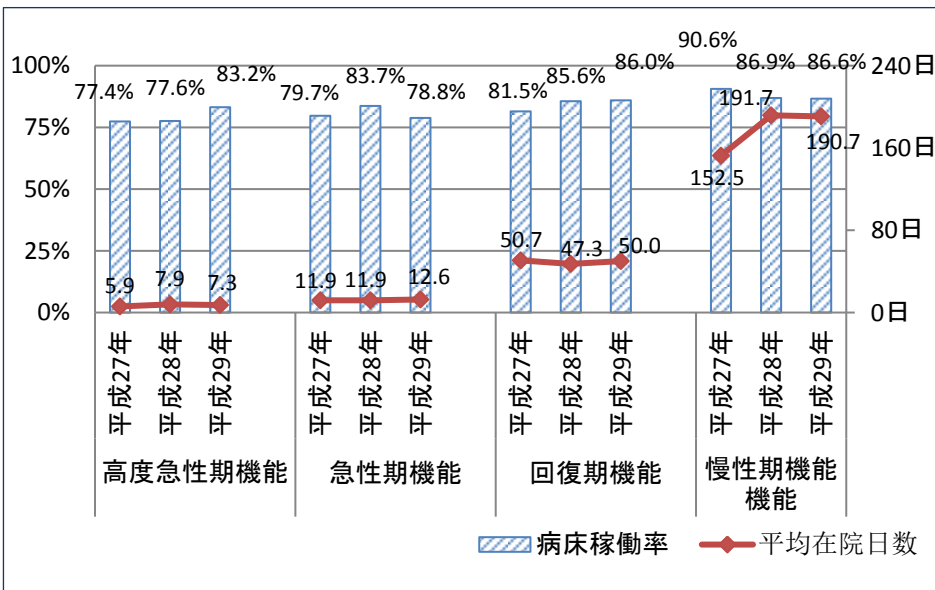
①4機能別病床数の推移(平成27年度～平成29年度)



③入院料×機能



②病床稼働率と平均在院日数の推移(平成27年度～平成29年度)



④退院後1ヶ月以内に在宅医療を必要とする患者の割合

	在宅医療を必要としない患者(死亡退院を含む)	自院が在宅医療を提供する予定の患者	他施設が在宅医療を提供する予定の患者	在宅医療の実施予定が不明の患者
高度急性期機能	1,168 93.7%	15 1.2%	30 2.4%	34 2.7%
急性期機能	6,763 84.8%	440 5.5%	443 5.6%	325 4.1%
回復期機能	346 63.6%	18 3.3%	108 19.9%	72 13.2%
慢性期機能	293 75.5%	6 1.5%	26 6.7%	63 16.2%

⑤退院調整部門を置いている病院の割合 62.7%(前年度60.7%)

- ①高度急性期機能が減、急性期・回復期機能が増
- ②高度急性期機能では、在院日数が低下し、病床稼働率が上がった。
- ③地域包括ケア病棟で、急性期機能の報告割合が高い
- ④回復期機能で、退院後に他施設で在宅医療を提供する患者が多い。
- ⑤退院調整部門の設置割合が上昇